

週間市場レポート

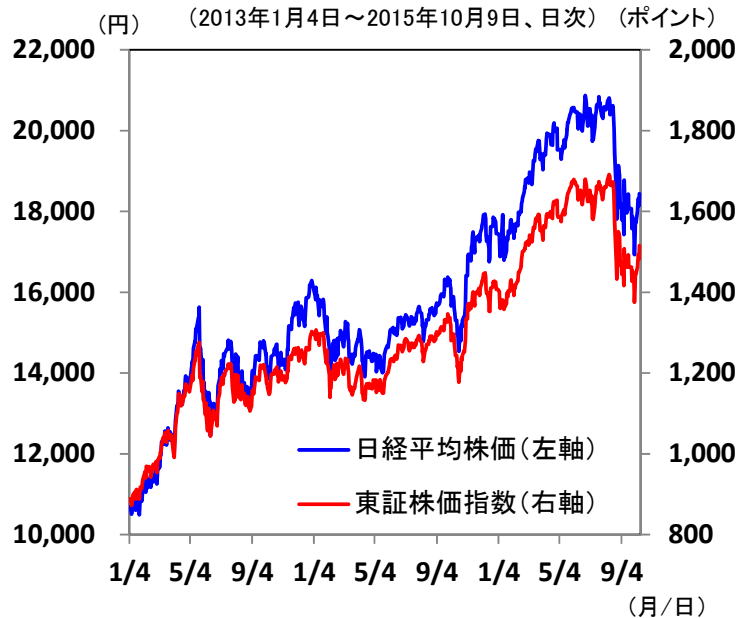
(2015年10月5日～9日)

(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

■先週の日本株式市場(日経平均株価)は上昇基調となりました。米早期利上げ観測の後退を受けた欧米株価上昇や、TPP(環太平洋経済連携協定)の大筋での合意などを好感して買われ、7日(水)まで6日連続で上昇しました。8日(木)は一旦下落したものの、今回見送られた日銀の追加緩和策への期待感が根強く、9日(金)は再び上昇して週の取引を終えました。(週末引け値: 18,438.67円)

■週間では、日経平均株価は4.03%の上昇、東証株価指数は4.86%の上昇でした。

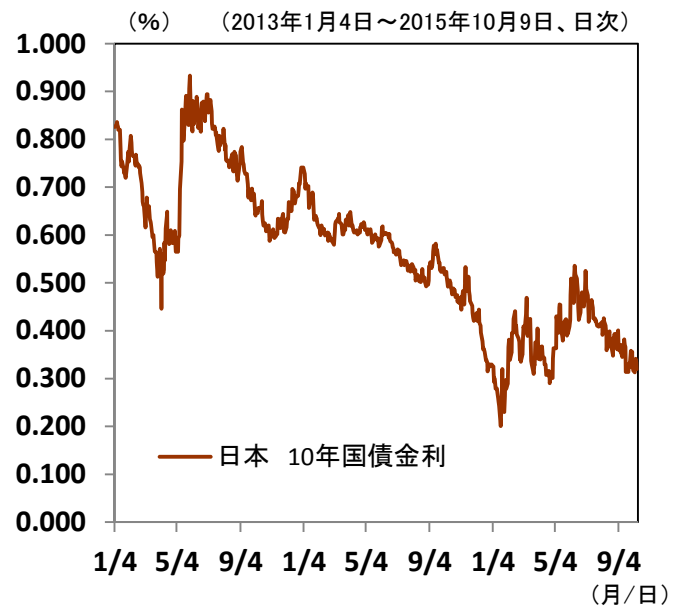


出所:ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

■先週の日本債券市場(10年国債金利)はほぼ横ばいでした。5日(月)は日銀の追加緩和への期待や米債券市場の上昇を受けて買われました(金利低下)(5日引け値: 0.313%)。その後は様子見傾向が続き、高値への警戒感や国内・欧米株価の上昇を受けて売りが出る場面もあったものの底堅く推移しました。(週末引け値: 0.320%)

■週間では、10年国債金利は0.003%の上昇でした。



出所:ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

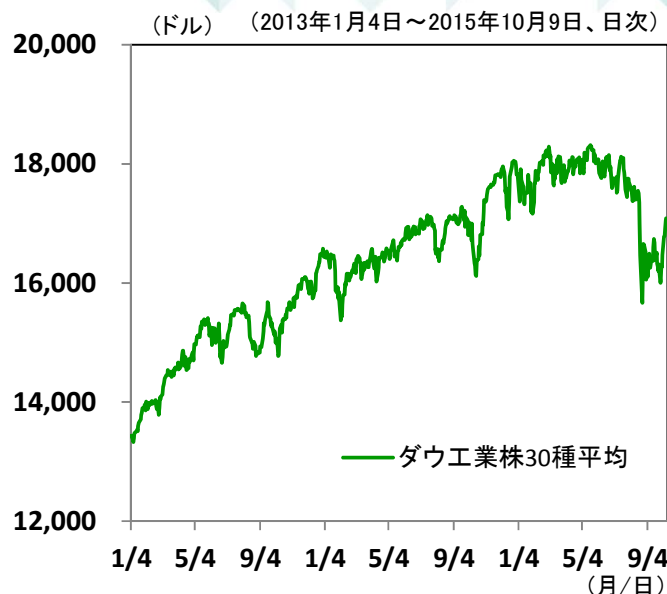
(2) 米国の株式市場

市場の動き

■先週の米国株式市場(NYダウ)は上昇しました。週初から米早期利上げ観測の後退や日本・欧州の株価が上昇したことで買われました。原油価格などの商品市況が堅調に推移したことも追い風となって上昇が続きました。9日(金)は、損益確定の売りで上値は重かったものの、アジアや欧州の株価上昇を受けて6日続伸となり、約1ヵ月半ぶりの高値で週の取引を終えました。

(週末引け値:17,084.49ドル)

■週間ではNYダウは3.72%の上昇となりました。



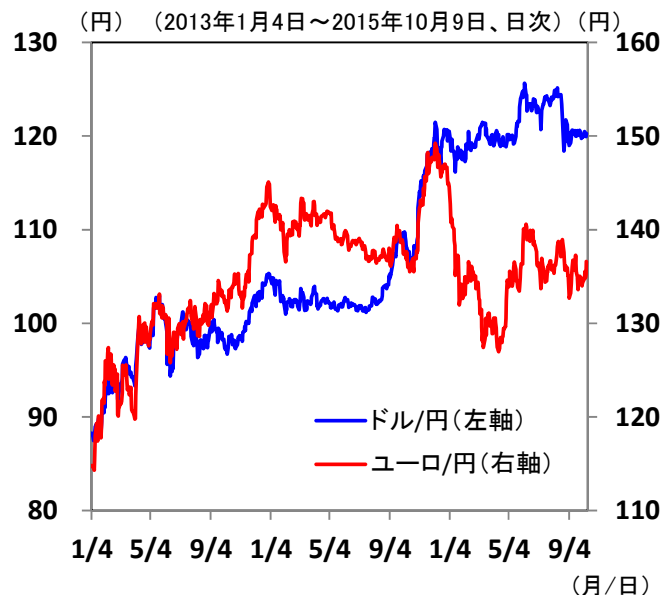
出所:ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

■先週のドル円相場は横ばいでした。日本や欧米の株高を受けて米金利が上昇し、ドル買い円売りが優勢となりました。一方で、米早期利上げ観測の後退からドル売り円買いの動きが強くなる場面もあり、膠着した状態が続きました。ドル円相場は、119円台後半から120円台前半と狭い範囲で小刻みに動く展開となりました。9日(金)は、世界の株価が堅調に推移したことでドル買い円売りがやや優勢となり、120円20銭～30銭で週の取引を終えました。

■週間では米ドル円は0.30%の円安、ユーロ円は1.60%の円安となりました。



出所:ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成